

国土交通省から長年にわたり、地域の建築設備業界の発展に寄与したことから、国土交通大臣功労者表彰を受けた。「まだまだ課題が多い業界。少しでも業界に携わる人が働きやすく、入職しやすい環境にした



つてからも6月に三重側の体制も整えていく。県管工事工業協会が主必要がある」と現状を体となって建築設備業界に見据える。界のことを知ってもらい建設業界では現在、おとと、四日市中央工4週6休を目指した活業高校設備システム科動が進む。4週8休の生徒を招いた会社とも視野に入れながら、現場の見学会を開き改善することで若者がた。この会に参加した働きやすい職場環境づくりに取り組んでいく。分離発

働きやすく、入職しやすい環境へ

今年に入

組んでいく。分離発



藤原工業(四日市市) 社長

藤原 和彦さん

生徒もほとんどが注の拡大や社会保険への加入、キャリアアップ進学するという。の加入、キャリアアップ「早いうちから建築設備に触れても題はあるが、「これくらい、少しでも興らも業界がよい方向に味を持つてもう向くように手伝っていいことが大事」との「きたい」と意欲を見せる。思いはあるが、る。

「受け入れる業界 (三重支局) 岡本彰